

広報資料

【問い合わせ先】

呉海上保安部交通課長 伊藤

0823-22-0999



令和5年4月6日

## 令和5年3月中の海難発生状況（速報値）

～プレジャーボートの活動活発化を前に業者の点検整備実施を～

呉海上保安部管内における令和5年3月中の海難発生状況は、船舶海難2件2隻（死者なし）、人身海難1件1人（死者なし）となっています。

参考：広島県内の海難発生状況は、船舶海難8件10隻（死者なし）、人身海難5件7人（死者1人）となっています。

### ➤ 海難の内訳【海難事例は別紙参照】

**船舶海難** 2件 2隻（死者なし） /前年同月 1件 1隻（死者なし）

**人身海難** 1件 1人（死者なし） /前年同月 1件 1人（死者1人）

### ➤ 海難防止のポイント

高齢の漁業者が、かき筏上から海中転落する事故が発生していること、また、温暖な季節となり、プレジャーボート等の活動が活発化することから次の点について呼び掛けます。

#### ・ 慎重な行動をしましょう！

高齢者は、加齢により身体能力が低下する傾向があり、乗船時においては、甲板上の突起物や漁具等に躓きやすくなることで転倒や海中転落のリスクが高まり、岸壁や防波堤上においても同様にリスクが高まるため、乗船時のみならず海岸付近陸上部の移動時においても慎重に行動しましょう。

#### ・ 業者による点検整備の実施！

長期末使用であったプレジャーボート等を久しぶりに運航する場合はパーツの劣化等を考慮し事前に専門業者による点検整備を実施しましょう。

#### ・ 発航前検査の実施！

出港前に、船体の異常の有無、航海計画にあった燃料、エンジンオイルの量、バッテリー電圧や液量、気象・海象の確認、航行する海域の浅瀬などを海図で確認しましょう。

※本広報における数値は速報値であり、今後の調査結果により変更する場合があります。

## 海 難 事 例

### ■船舶海難

#### 【事例1】（乗揚）

発生日 令和5年3月21日（火）朝  
発生場所 広島県豊田郡大崎上島町箱島の東方海域  
事故船舶 貨物船（499総トン）  
事故概要 貨物船は、大阪を出港し、大崎上島町向け航行中、上記場所の浅瀬に乗揚げたもの。（原因調査中）

### ■人身海難・船舶海難

#### 【事例1】（海中転落・無人漂流）

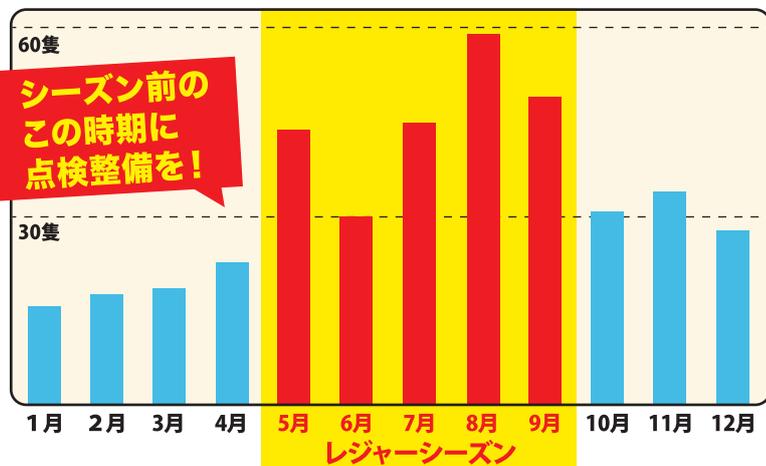
発生日 令和5年3月9日（土）日中  
発生場所 広島県呉市阿賀の東方海域  
事故者 男性（70代）  
事故概要 事故者は、発生場所に設置されたかき筏上からわかめを採捕していたが、場所移動のため、漁船の係留索を解らんと、自身はバランスを崩して海中転落し、漁船は付近海域に無人漂流したものの。

# レジャーシーズンの前に点検を!

だんだんと暖かくなり、過ごしやすい気候となりました。

船で海に出るのも気持ちよくなる季節となりますが、冬の間動かさなかった船は特に発航前の点検や業者による点検を実施しましょう。

プレジャーボートによる機関故障海難の月別発生状況(過去10年)



## POINT

### ●発航前検査の実施

発航前検査で防げる燃料欠乏やバッテリー過放電等が依然多く発生しています。出港前には必ず点検実施を!

### ●整備業者による定期的な整備の実施

簡単な点検では見つけられない機関内部の故障も多く発生しています。整備業者による定期的な点検整備を!

CHECK!

